

質問書回答一覧

番号	日付	関連事項及び図面番号	質問	回答
1	7/23	図面番号A-02	起工式については、財団主催で開催されると考えてよいか。	財団主催の起工式を開催する予定はありません。
2	7/23	図面番号A-16・A-55	現況GLのレベルが不明です。設計GL＝現状GLと考えてよいか。	A-16図左上の隣地境界点を現状GLの基準点（GL=0mm）としています。建物の基準レベル（設計GL＝Z ₀ ）はGL+200mmとしています（現状は、ほぼ平坦な地盤です）。
3	7/25	図面番号A-30, 金抜設計書No7(A)、図面番号A-7	金抜設計書土間下の断熱材Bは、断面詳細図に記載がありますが、金抜設計書に計上されておられません。追加計上して宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-7図19章-16断熱材・防露材を正とします。なお、金抜設計書に修正がありますので、以下を正としてください。 ○金抜き設計書（No. 7(A), No. 19 (A), No. 50(A)） http://www.ist.or.jp/ippan_kyosou/yuukiEL_kenchiku/kinnukisashikae.pdf
4	7/25	図面番号A-29・S-26	土間下の地業は、断面詳細図では碎石地業（再生クラッシュラン）t 100になっていますが、構造図の床版リストでは捨コンt 50と碎石地業t 60になっています。床版リストを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-構造図(S-26図)を正とし、1階埋め戻し部分のスラブ下部は、敷砂利t 60の上捨コンt 50とし、配管ピット等下部は、敷砂利t 60の上土間コンクリートt 120としてください。
5	7/25	金抜設計書No16(A)	金抜設計書の鉄骨工事にタイロッド24φ（2セット）が計上されていますが、使用場所が不明です。御指示下さい。	A-32図屋内階段詳細図参照 屋内階段の吊材として使用します。タイロッドサイズはφ19を正とします。